

目次

□ パソコンが新しくなりました／ 計算機室からのお知らせ	▶ 1
□ 共同利用できるパソコンはこちらです	▶ 3
□ ネットワークを利用する際には お互いの気遣いを忘れずに	▶ 4
□ 図書館の新たな取り組み	▶ 5
□ 学術情報センター所蔵資料紹介	▶ 6
□ NEWS & お知らせ	▶ 8

パソコンが新しくなりました／計算機室からのお知らせ

2000年度より情報処理実習教室、オープン利用室等に設置しているパソコンを新しい機種に入れ替えました。これに伴いパソコンの基本OS、導入ソフトウェアおよびプリント課金、ユーザ認証等が変更されていますので、利用に際しては以下の変更点に注意してください。

①パソコン利用時の各種操作について

パソコンの入れ替えに伴うシステムの新規構築によりユーザ認証、プリント課金、授業支援システム（教材送受信）等が変更されています。

例えば、授業支援システム利用時に用いる授業グループ名については、昨年度まではユーザ認証時に入力していましたが、本年度からは授業支援システム起動時にのみ入力することになっています。

パソコン利用時の各種操作の変更については、計算機室窓口で配布している「情報処理実習教室利用の手引」で確認してください。なお「情報処理実習教室利用の手引」についてはホームページ

でも閲覧することが可能です。

(<http://www.doshisha.ac.jp/network/kyotebiki/index.html>)

②ZIPディスクの利用について

画像や音声を始めとする大容量のデータを扱うために、一部のパソコンを除いてFD（フロッピーディスク）の他、ZIPディスクを利用できる環境を整えています。今回装備しているZIPディスクドライブは容量が100Mバイト対応で、FDと比較すると大容量のデータやファイルを扱うことができます。また、電子メール（AL-Mail）の利用に際しても従来のFDと併せて、ZIPディスクを利用することが可能です。

なお、情報処理実習教室等以外でMOディスク、DVDを利用している場合は、オープン利用室（顕真館、寧静館1階）に設置しているメディア変換用パソコンでZIPディスクに変換して利用してください。

③プリント出力の取り扱いについて

教育、研究利用等を目的としたパソコンからのプリント出力については、年間300枚まで無料になりました。また、制限枚数を超えた場合は50枚(200円)単位で増額申請を行う必要があります。

2000年10月からは制限枚数を超えると自動的にプリント出力ができなくなる他、パソコンから自分自身のプリント出力枚数を確認できる、プリントジョブの削除を行える等、プリント出力に関する取り扱いが若干変更されます。

なお、2000年4月から9月のプリント出力枚数については印刷実績の集計のみを行い、9月末時点で制限枚数を超えている場合、10月1日以降プリント出力ができなくなります。9月末までにプリント出力枚数が制限値を超えた場合は、事前に電子メール等で連絡する予定ですので、連絡があれば速やかにプリント出力枚数の加算手続きを行ってください。

利用相談について

パソコンやソフトウェアの利用方法が分からない場合は、情報処理実習教室等に置いてある「手引」や市販のマニュアル等を参照してください。また、ソフトウェアには使い勝手の良いオンラインヘルプが用意されていますので、不明な点があればこれらを用いて自分で問題を解決するよう努力してください。

なお、一通り調べても問題が解決できない場合には、情報処理実習教室、オープン利用室等に配備している情報処理実習教室補助員(Technical Adviser)に相談し、問題の解決となる手がかりを見つけてください。

その他、初心者を対象としたパソコン利用に関する講習会やプログラム相談の機会を設けていますので、これらの機会を積極的に活用してください。ただし、授業や課題に関する質問には一切お答えできませんので注意してください。

ユーザIDとパスワードについて

入学時に全員に配布しているユーザIDとパスワードは、大学のパソコンを利用する上で非常に重要なものです。パスワードを他人に知られると自分宛のメールを読まれたり、他人が自分になりすましメールを出す等、悪用される危険性がありますので、パスワードは定期的に変更しユーザIDと共に記憶してください。なお、ユーザIDについては卒業するまで変わりません。

また、パスワードの変更はホームページから行うことができます。

(<http://www.doshisha.ac.jp/network/settei/settei.html>)

FD、ZIPディスクの忘れ物について

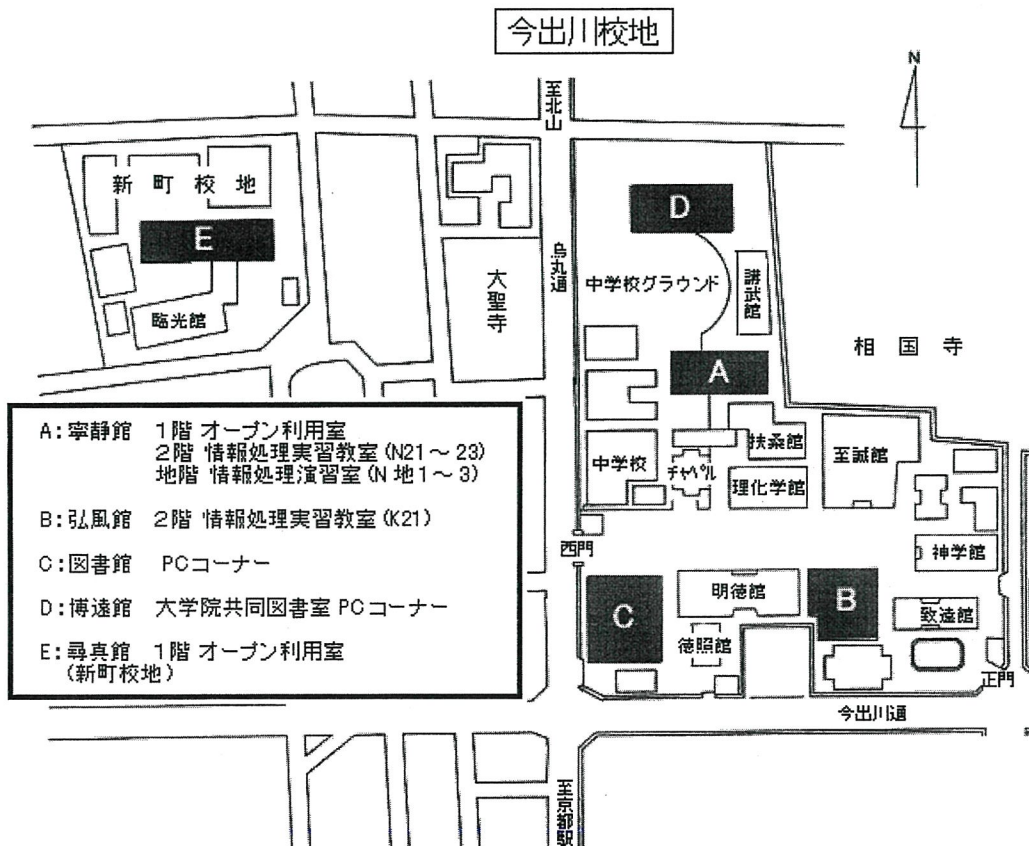
毎日多くのFDが忘れ物として計算機室窓口に届けられています。AL-Mailで利用するFDについては、個人のプライバシーに関わる重要な情報も含まれており、他人に悪用される危険性があります。また、ZIPディスクについてもFDと同様に忘れ物には注意してください。

これらについては、忘れることのないよう注意することは無論ですが、氏名、ユーザID等を必ず記入するようにしてください。なお、所有者の特定できないFD、ZIPディスクについては返却することができませんので注意してください。

FD、ZIPディスクの取り扱いについて

FDについてはパソコンで作成したデータを保存できない、格納されているはずのデータを読み込むことができないといった相談が多数寄せられています。大部分がFDそのものの障害であり、FDに格納されたデータ、ファイル等が一瞬のうちに消滅するケースが頻繁に発生しています。FD、ZIPディスクを持ち運ぶ際にはケースに入れ、慎重に取り扱うよう心がけてください。また、万一に備え定期的にFD、ZIPディスクのコピー(バックアップ)を行ってください。

共同利用できるパソコンはこちらです



ネットワークを利用するにはお互いの気遣いを忘れずに

インターネットを利用するための技術が飛躍的に進歩し、インターネットの世界はすっかり私たちに身近なものとなりました。一方、鉄道会社による携帯電話の使用自粛の呼びかけが徐々に強まっているように、そうした身近になった技術を利用する際の利用者側のモラルも形成されていかなくてはなりません。

不正行為への対応

最近では、本学でもネットワーク利用における苦情が学内利用者だけでなく学外からも寄せられることが多くなってきました。他人の名前を騙って悪戯メールを送る、あるいは電子掲示板やチャットに公序良俗に反する書き込み（いわゆる「荒らし」行為）を行う、といった悪質な事例も後を絶ちません。一般社会でもこれに相当するような行為（偽名行為、公序良俗に反する行為）は当然ながら禁止され、場合によっては制裁が科されません。

ネットワーク上で自分の氏名その他を伏せて発言等ができる、という匿名性はより自由なコミュニケーションを可能にしますが、そのことは無責任な行為・発言が許されることではありません。利用者は常に自身の行為について「責任」を負わなくてはなりません。

本学でも、マナー違反や不正行為に対しては事実関係の確認・関係者の特定を行い、状況によってはしかるべき措置をとることになります（「同社大学学術情報ネットワークシステム利用要綱」および「インターネット利用要綱」参照）。

ネットワークの世界ではコンピュータに向かって操作することから機械と会話しているような錯覚を持たれる場合があるかも知れませんが、ネットワークの先にも必ず「人間」がいます。ネットワークの利用は基本的に人と人とのコミュニケーションの手段であり、人に直接会う時と同様のマナーが要求されることを忘れないでください。

お互いへの配慮から快適な環境の創造を

一部のマナーを守らない者のために、ネットワーク上での制約が増えていくことは誰も望まみはずです。本学においてインターネットを利用される皆さんにおいては、常にネットワーク利用上のマナーを遵守し他の利用者への配慮を心がけていただくこと、また本学の学術情報ネットワークは「教育・研究活動の支援を目的として運用されている」ということを念頭に置かれた上で、インターネットをより有効に利用し、教育・研究活動の成果をあげられることを願っています。

- 本学ネットワークに関する速報（Dnews）：
<http://www.doshisha.ac.jp/whatsnew/dnews/index.html>
利用要綱や利用案内、緊急性の高いネットワークシステム作業によるサービス停止のお知らせなど大切な情報を掲載しています。
- ネチケット（netiquette=networkとetiquetteの合成語）ホームページ：
<http://www.togane-ghs.togane.chiba.jp/netiquette/>

コンピュータ倫理10ヶ条

1. コンピュータを使って他人を傷付けてはならない
2. 他人のコンピュータ作業を妨害してはならない
3. 他人のファイルをのぞきみてはならない
4. コンピュータを使って盗みを働いてはならない
5. コンピュータを使って嘘の証言を行ってはならない
6. 料金を支払わずにソフトウェアを使ったりコピーしてはならない
7. 許可なく他人のコンピュータ資源を使ってはならない
8. 他人の知的生産物を自分のものとしてはならない
9. 自分が書くプログラムの社会的影響の重大さに思いをいたすべきである
10. 思いやりと敬意が相手にわかるようにコンピュータを使うべきである

(The ten commandments for computer ethics, The Computer Ethics Institute)

図書館の新たな取り組み

図書館の所蔵資料・施設・設備も年々増加、充実してきました。これらをいかに有効利用できるかという観点からさまざまな検討をしています。2000年度を迎え、新たな取り組みがスタートします。

貸出条件を改定します

1999年度は今出川図書館・ラーネッド記念図書館合計約25万冊（年間）の館外貸出がありました。学生一人当たり約10冊（年間）の貸出ということになります。毎年約2万冊を新規に購入している現在では、両館あわせて60万冊近い図書が貸出可能となっています。

そこで、利用者の皆さんが図書館の図書を今まで以上に利用できるように、貸出条件を次のとおり改定します。

①学部生（1～3年次生）

開架6冊（2週間）閉架8冊（2週間）

合計冊数8冊とします。

②卒業年次生（4年次・再修生）

開架6冊（2週間）閉架10冊（1ヵ月）

合計冊数は10冊とします。

③大学院生・教職員

開架6冊（2週間）閉架20冊（3ヵ月）

合計冊数20冊とします。

卒業年次生については従来「卒業論文作成のための特別貸出」として一定の手続が必要でしたが、今回の改定で特別な手続は不要となります。

さらに、卒業後も研究を続けたいという希望者のために卒業生への貸出を開始します。手続は住所確認等を含めて毎年の更新が必要です。

④同志社大学（含 大学院）の卒業（修了）生

開架3冊（2週間）閉架3冊（2週間）

合計冊数3冊とします。

現在、運用開始の準備をしていますので、開始時期や詳細については、館内掲示や学術情報センターのホームページで追ってお知らせします。

新データベース利用

学内LAN経由で提供してきました次のデータベースがWebで利用できます。CD-ROMは更新を停止し、スタンドアロンでの利用となります。

J-BISC（国立国会図書館蔵書目録）

国会図書館ホームページ <http://www.ndl.go.jp/>のWEB-OPACの検索から同様に利用できます。国立国会図書館がWEB-OPACを一般公開したもので、どこからでもどなたでも利用できます。

雑誌記事索引データベース

図書館ホームページの「オンラインデータベース利用」から MAGAZINEPLUS（NICHIGAI/WEBサービス）を選択すると、雑誌記事索引（学術雑誌）、ジャーナルインデックス（ビジネス誌・一般誌）、Joint（経済・産業・労働）、学会年報・学術論文集、KSK（産業・企業海外情報）の5つのファイル（520万件）をまとめて検索することができます。同志社大学のネットワークに接続のパソコンからご利用ください。

旧分類図書をDOORSで検索

現在カード目録で検索をいただいている旧分類図書（1964年3月以前受入れの蔵書）が、順次オンラインDOORSやWeb版DOORSで検索できるようになります。

今出川図書館には約12万冊、講武館書庫には約6万冊の旧分類図書がありますが、第一段階として今出川図書館所蔵分を2年間かけてDOORSに入力する予定です。作業の完了した図書は請求記号も新分類に切り替わり、閉架書庫のDOORS図書（新分類図書）と一緒に並びます。

学術情報センター所蔵資料紹介

ラトガース大学所蔵グリフィスコレクション

－ JAPAN Through Western Eyes －

(PART2－PART5)

【今出川 閉架 FM 345】

グリフィスコレクションを紹介する前に、「お雇い外国人」について若干の説明が必要かと思われる。

「お雇い」とは明治新政府が教育、行政、技術の分野で雇用した外国人をいいますが、その大部分がアメリカ人で占められています。そして彼らが残した日本見聞の貴重な記録は、「アメリカ人の目を通して見た日本のイメージ」をかたちづくる上で、大きな役割を果たしてきたのです。また彼らは、日本の近代化の過程を「西洋からみた日本」という視点から観察し、重要な情報を提供し続けてきたといえるでしょう。

グリフィスは、1870年に越前・福井藩の招きによってアメリカから来日し、藩の教育にあたっています。次いで72年から74年までの間、明治新政府に雇われて東京大学の前身である南校で理学、化学を教えています。そして帰米してからの五十余年は、日本に関する講演や執筆活動を通じて、日本および東洋の姿を広く西洋の人々に紹介し、「お雇い外国人」の調査研究に専念したのです。

グリフィスが亡くなった翌年の1929年、彼の蔵書、未刊草稿、メモおよび切り抜き類の多くが、彼の遺志により母校ラトガース大学図書館に寄贈されています。この中には彼が「お雇い」についての歴史を書くことを意図して収集していたと思われる75人もの「お雇い」の個人的文書も含まれています。

「お雇い」アメリカ人の未刊行史料の情報を、最も網羅している資料として位置づけられる彼のコレクションが、ラトガース大学所蔵グリフィスコレクション－Japan through western eyes (マ

イクロフィルム版)－として近年刊行されました。

グリフィスという知的な観察者によって残された、広汎なジャンルにまたがるこのコレクションは、当時の日米関係、米国の対日観、日本の対米観を研究する上で傑出した資料であり、近代日本の政治、商業、文化史を考察するうえでの一級の資料といえます。本コレクションの構成の詳細は以下の通りとなっています。

PART2 － 1859年から1922年の間にグリフィスが書き残した32冊の日記及び1872年から1874年にかけて、グリフィスが日本人学生に書かせた343本のエッセイ

PART3 － 教育者、政府官僚、後に初代ロシア大使、ポーツマス条約調印者となった者をはじめとする、学生達との間で交換されたものを含む書簡類

PART4 － スクラップブック、印刷物、M.C.Griffis (グリフィスの妹) の日誌、グリフィスが収集した文書集

PART5 － 著名な外国人使節などに関してグリフィスが書き残した伝記、ノート、記事、パンフレット、講義録、草稿等々



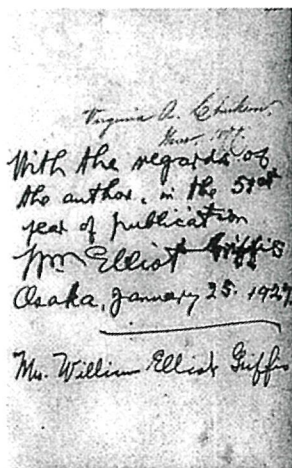
コレクションの紹介を終えたところで、同志社大学とグリフィスを結ぶ70年前の交流を紹介したいと思います。

本学の荒木文庫にはグリフィスの代表作である The Mikado's Empire 【今出川閉架 210.1 G-2b】が所蔵されていますが、これはグリフィス夫妻の署名入りというおまけつきの本なのです。

1927年に婦人とともに再来日したグリフィスは、京都に立ち寄り、同志社女学校で教鞭を執っていたデントン女史を訪問しています。この署名入りの本は、その際行われた夫妻の歓迎レセプションの席上で誕生したようです。

本の見開きには、“With the regards of the author, in the 51st year of publication / OSAKA, January 25, 1927” の文字とグリフィス夫妻の署名が記され、タイトルページ裏には、“昭和二年一月二十五日の夜 大阪ホテルに於いてグリフィス博士及び同夫人を歓迎す。出席者各自署名す” という文字と12名の日本人の署名が残されています。また同年2月1日には、1000人の同志社大生を相手に、1時間程の講演を行ったという記録が『同志社女学校期報第五十二号』に残っています。

このようなエピソードに触れると、同志社大学の歴史と伝統を再認識する思いがします。



【The Mikado's Empire 今出川閉架 210.1 G-2b】

ーグリフィス夫妻の署名ー

本学ではグリフィスの著書を30冊ほど所蔵しています。主な著書を紹介しますので、興味のある方は目を通してみてください。あわせて日本国内ではグリフィス関係の資料を最も多く収蔵している福井大学附属図書館の名前も紹介しておきます。

《本学所蔵 グリフィスの著書・翻訳本》

1. Japan in history, folk lore and art
【今出川 ケーリー文庫 210.1 G】
2. The new Japan pictorial primer :
introductory to the new Japan readers
【今出川 閉架 807 G】
3. A maker of the new orient : Samuel
Robbins Brown : pioneer educator in
China, America, and Japan : the story of
his life and work 【今出川 閉架 289.1 B】
4. Hepburn of Japan : and his wife and
helpmates : a life story of toil for Christ
【今出川 閉架 289.4 H2-4】
5. Japanese fairy world : stories from the
wonder-lore of Japan
【今出川 ケーリー文庫 388.1 G】
6. Corea : the hermit nation
【今出川 ケーリー文庫 221 G】
7. 明治日本体験記 【両校地 210.6 G-2】
8. ヘボン：同時代人の見た
【両校地 198.52 G679-1F】
9. ミカド：日本の内なる力 【今出川 210.6 G】

ラトガース大学では Special Collection として数種類のコレクションを公開しています。グリフィスのコレクションの画像も一部公開されていますので、興味のある方はアクセスしてみてください。

<http://www.libraries.rutgers.edu/rulib/spcol/griff.htm>

NEWS & お知らせ

学術情報センター利用時間(6~10月)

(臨時の変更は掲示にてお知らせします。)

● 今出川校地

		図書館			計算機室	
		1・2階	第1・2閲覧室、マルチメディア・ライブラリー パソコン・コーナー、EU資料センター		計算機施設	窓 口
7/14まで	月~土	9:00-22:00	9:00-21:30	9:00-22:00	9:00-21:45	
7/15~7/31	月~金	9:00-22:00	9:00-21:30	9:00-19:00	9:00-17:00	
	土	9:00-22:00	9:00-21:30	9:00-17:00	9:00-12:00	
8/1~8/11	月~金	9:00-20:00	9:00-19:30	9:00-16:00	9:00-16:00	
8/12~8/20 夏期一斉休暇						
8/21~9/14	月~金	9:00-20:00	9:00-19:30	9:00-16:00	9:00-16:00	
9/16~9/30	月~金	9:00-20:00	9:00-19:30	9:00-19:00	9:00-17:00	
	土	9:00-16:00	9:00-15:30	9:00-17:00	9:00-12:00	
10/1~	月~土	9:00-22:00	9:00-21:30	9:00-22:00	9:00-21:45	

※今出川図書館の閉架書庫、講武館書庫の資料請求は閉館1時間前に締め切ります。

★今出川図書館

ラーネット記念図書館
日曜開館のお知らせ

右表のとおり、開館します。
開架資料の閲覧・コピーに限ります。
なお、8月、9月の日曜開館はありません。

月	日	開室・利用時間
6	4, 11, 18, 25	(今出川) 開架閲覧室 雑誌室、参考図書室: 10:00-17:00 EU資料センター: 10:00-16:30
7	2, 9, 16, 23, 30	(ラーネット) 開架閲覧室 参考図書・雑誌室: 10:00-17:00
10	1, 8, 22, 29	(ラーネット) 開架閲覧室 参考図書・雑誌室: 10:00-17:00

● 京田辺校地

		ラーネット記念図書館			計算機室	
		2・3階	1階読書室	書庫、パソコンコーナー マルチメディア・ライブラリー(1階)	計算機施設	窓 口
7/31まで	月~金 土	9:00-20:00 9:00-16:00	9:00-20:00 9:00-17:00	9:00-19:30 9:00-15:30	9:00-20:00 9:00-17:00	9:00-17:00 9:00-12:00
8/1~8/11	月~金	9:00-16:00	閉 室	9:00-15:30	9:00-16:00	9:00-16:00
8/12~8/20 夏期一斉休暇						
8/21~9/14	月~金	9:00-16:00	閉 室	9:00-15:30	9:00-16:00	9:00-16:00
9/16~9/30	月~金	9:00-17:00	閉 室	9:00-16:30	9:00-17:00	9:00-17:00
	土	9:00-12:00	閉 室	9:00-11:30	9:00-17:00	9:00-12:00
10/1~	月~金	9:00-20:00	9:00-20:00	9:00-19:30	9:00-20:00	9:00-17:00
	土	9:00-16:00	9:00-17:00	9:00-15:30	9:00-17:00	9:00-12:00

※ラーネット記念図書館の書庫は閉館30分前に閉室します。

学術情報センター施設の利用について

学術情報センター施設の入館、入室および資料の貸出、閲覧等の利用には「学生証」等または「社員証」が必要です。

「利用カード」について

「学生証」等または「社員証」の交付を受けることができない方が図書館を利用する場合には、「利用カード」が必要です。両校地図書館カウンターで発行手続をとってください。

利用案内の配布について

『学術情報センター利用案内』（2000年度版）を両校地図書館、計算機室窓口等で配布しています。

同志社大学学術情報センター報 No.19

2000年6月1日発行

編集・発行 同志社大学学術情報センター

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入 ☎075-251-3960